

個別地域ケア会議から抽出された地域課題等について

番号	実施日等	会議参加者	対象者情報	ケース概要	抽出された地域課題	市の取組状況
1	実施日： 5月28日 事例提供： 鹿島包括	<ul style="list-style-type: none"> ・地区民生委員 ・社会福祉協議会 ・サービス事業者（NPO法人） ・受診先病院 ・市鹿島区市民福祉課 ・鹿島包括 	性 別：男性 年 齢：92歳 介護度：なし 世 帯：一人	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症で独居の方で、被害妄想が強く協力的な息子の支援、関わりを拒否している。 ・趣味の活動場所に通いたいが、交通手段がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・独居で認知症の高齢者が、地域で孤立しないよう、趣味の活動へ外出する際の支援策が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、市では一般の交通機関を利用することが困難な高齢者に対し、居宅から相双地域内の医療機関、在宅福祉サービス又は介護予防等事業を提供する場所との間を送迎する事業を実施している。
2	実施日： 9月24日 事例提供： 原町東包括	<ul style="list-style-type: none"> ・地区民生委員 ・通所介護事業者 ・訪問看護事業者 ・介護支援専門員 ・市長寿福祉課 ・原町東包括 	性 別：女性 年 齢：80歳 介護度：要支援2 世 帯：夫と二人	<ul style="list-style-type: none"> ・夫の認知症理解不足から本人を傷つける発言がある。 ・服薬の仕方について、多くの関係者が助言していたが、それが本人にとっては混乱のもとだった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症に対する家族の理解が乏しいため、本人のプライドが傷つけられ外出を禁止され閉じこもりがちとなる。 認知症の啓発や講座、地域サロンの充実が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、「認知症の人と家族の会」の取組みや「認知症カフェ」などがあり、市では、認知症啓発のための講座、認知症サポーター養成講座を開催している。 また、地域サロン活動で認知症について学ぶ機会をつくっている。